学校番号	２１０１

平成３１年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅰβ	単位数	１単位	年次	全年次
使用教科書	「数学Ⅰ　Advanced」　（東京書籍）						
副教材等	準拠問題集「PRIME　数学Ⅰ＋Ａ」　（東京書籍）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、みずから考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。

２　学習の到達目標

数と式及びデータの分析について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	数学的活動を通して，数と式およびデータの分析における考え方に関心をもつとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識し，それらを事象の考察に活用しようとする。	数学的活動を通して，数と式およびデータの分析における数学的な見方や考え方を身につけ，事象を数学的に捉え，論理的に考察するとともに，過程を振り返り多面的・発展的に考察し，表現できる。	数学的活動を通して，数と式およびデータの分析において，事象を数学的に考察し，処理する仕方や推論の技能を身につけ，的確に問題を解決できる。	数学的活動を通して，数と式およびデータの分析における基本的な概念，原理・法則，用語・記号などを理解し，基礎的な知識を身につけている。
評価方法	確認テスト 単元テスト ワークシート 観察等	単元テスト 定期テスト ワークシート 観察等	確認テスト 単元テスト 定期テスト 観察等	確認テスト 単元テスト 定期テスト 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
中間考査まで	数と式	1節　式の計算 整式 整式の加法･減法･乗法 因数分解 2節　実数 実数 根号を含む式の計算 3節　1次不等式 不等式とその性質 1 次不等式の解法 不等式の応用	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 式の計算や不等式などに関心をもつとともに，それらの有用性を認識し，事象の考察に活用しようとしている。 b: 式の展開や因数分解，数の体系，不等式を考察し，その過程を振り返ったりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身につけている。 c: 式の展開や因数分解ができたり，不等式の解を求めることができる。 d: 式の展開と因数分解，数の体系，不等式の性質について理解し，知識を身につけている。	確認テスト 単元テスト ワークシート 観察等
期末考査まで	データの分析	1節　データの整理と分析 データの整理 代表値 箱ひげ図 箱ひげ図とデータの散らばり 分散と標準偏差 2節　データの相関 相関関係 相関係数	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: データの分析に関心をもつとともに，いろいろな手法を認識し，事象の考察に活用しようとしている。 b: データの分布の特徴を考察し表現したり，その過程を振り返ったりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身につけている c: データの分布の特徴をいろいろな方法で表現･処理する技能を身につけている。 d: データの分析に関する基本的な概念を理解し，知識を身につけている。	確認テスト 単元テスト ワークシート 観察等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:数学的な見方や考え方
　　c:数学的な技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。